

町政を問う

6月定例会での一般質問は、6月17日と18日に15人の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問の記事は、質問した議員の責任において作成したものです。

※ QRコードでそれぞれのようにすが視聴できます



(香住会場) 多くの意見・提言が聞ける？



私の香美町の同級生は60人あまりです

町政懇談会の基本は、町の施策の説明とともに町民の意見・提言を伺い



見塚 修 議員

コロナ禍、町政懇談会どう進める!! 感染拡大対策をし、3区3会場で開催します



互いに打ち解けて話し合い町政の方向づけのために意義あるもの。コロナ禍にあって、この懇談会をどう進めるのか。

又、私の住む地域では、町長に出前講座をお願いし、膝を突き合わせて懇談した。小規模な単位で、女性の方、若者、

いろいろな方の意見が聞ける場。そのようなスタイルの懇談会が必要と考えるがどうか。

町長 町政懇談会は町民の皆様と町政の取組状況等を説明し、町民の皆様からの意見を頂く重要な機会を確保する観点

から、本年度も3区3会場で、意見交換の時間を増やす工夫をしながら感染拡大対策をした上で開催することを考えています。又、10人以上の団体・グループを対象とした出前まちづくり懇談会など多くの町民の皆様との意見交換の場を確保することも考えます。



東垣 典雄 議員

子育て支援出生祝10万円の創設を 現行の施策で子育て支援をします



3人の子どもがおられない方への質問には、子育てや教育にお金がかかるから3人目を諦めざるを得ないとのアンケート結果です。

現行の人口減少対策施策では不十分、一人10万円の出生祝金の創設を求め。

町長 出産、子育ての経済的支援として妊娠期からの検診費用も含め、

出生から子育て支援を行う方針のもと高校3年生までの医療費を無料化するなど、子育て世代に対する様々な施策で経済的負担の軽減を図っています。

経済的支援は、出生祝金のような町民の皆さんに直接現金を支給する事業は縮小し、必要な施策に重点化していく考えを持っており、出生祝金の創設は考えていません。